

まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ! 開催概要

—ほか、きむらとしろうじんじん野点 in 八戸スタッフ募集



青森県三戸町出身の漫画家「馬場のぼる」の回顧展

絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる青森県三戸町出身の漫画家・馬場のぼる(1927 - 2001)を、さまざまな側面から紹介する展覧会です。絵本や漫画の原画類に加え、スケッチブックや絵画を紹介するほか、青少年時代の作品や資料を通してルーツをたどります。

・会期 2022年7月2日(土)～8月29日(月)

・オープニングセレモニー・内覧会 (報道関係者の皆様、ご招待の皆様向け、要申込)

オープニングセレモニー | 2022年7月1日(金) 13:30～14:00

内覧会 | 2022年7月1日(金) 14:00～

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531

E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>

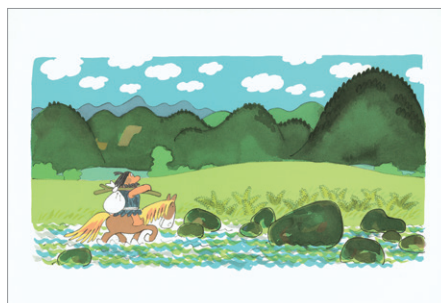
担当者(広報)|大澤、山内



まるごと馬場のぼる展 展覧会概要

企画名称	まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!
会期	2022年7月2日(土) - 8月29日(月)
会場	八戸市美術館(ホワイトキューブ、コレクションラボ、ブラックキューブ、ジャイアントルーム)
開館時間	10:00 - 19:00
休館日	毎週火曜日
観覧料	一般1,000円(800円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料
観覧料割引	・()内は、20人以上の団体料金 ・八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額 ・近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券等の提示により、運転者1名分に団体割引を適用 ・フリーパス「かおパス」の販売があります。「まるごと馬場のぼる展」に限り、何度でもご覧になれます。一般1,500円、高校・大学生750円
主催	まるごと馬場のぼる展八戸実行委員会 八戸市美術館、三戸町、株式会社デーリー東北新聞社、青森朝日放送株式会社、 一般財団法人VISITはちのへ
特別協力	こぐま社
企画協力	株式会社アドシステム
協力	コミュニティラジオ局BeFM
後援	八戸市教育委員会、三戸町教育委員会、八戸商工会議所、三戸町商工会、三戸町観光協会、NHK青森放送局、株式会社八戸テレビ放送、青い森鉄道株式会社、岩手県北自動車株式会社、八戸市私立幼稚園協会、三戸町社会教育振興協議会
八戸会場担当学芸員	田村由衣
八戸会場会場構成	佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室
まるごと馬場のぼる展 開催会場	練馬区立美術館(2021年7月～9月)、八戸市美術館(2022年7月～8月)、刈谷市美術館 (2022年9月～10月)

© Noboru Baba



左 | 馬場のぼる『11 びきのねことあほうどり』こぐま社 1972 年刊 リトグラフ(色校用) こぐま社蔵
 右 | 馬場のぼる『きつね森の山男』特装版 こぐま社 1999 年刊 こぐま社蔵

まるごと馬場のぼる展 見どころ

1. 幼少期の絵から、漫画、絵本、スケッチまで 500 点の作品や資料を展示

馬場のぼるは 1948 年に漫画家としてデビューし、翌年上京するまでの間を青森県三戸町で過ごしました。デビュー後は児童漫画や大人漫画、そして絵本など、多くの作品を生み出してきました。本展の展示は、世代を超えて今なお愛されている絵本「11 ぴきのねこ」シリーズから始まり、絵本や漫画の原画類に加え、約 50 年描きためたスケッチブック、ねこの絵画、楽しみのためにつくった立体作品など、約 500 点を紹介します。

作品からあふれるほのぼのとしたあたたかさやユーモアを感じながら、馬場のぼるの多彩な魅力をまるごとお楽しみください。



左 | 馬場のぼる『11 ぴきのねことあほうどり』こぐま社 1972 年刊 リトグラフ(色校用) こぐま社蔵
中央 | 馬場のぼる スケッチブック 制作年不詳 個人蔵
右 | 馬場のぼる「プウタン」『幼年ブック』1954 年 9 月号原画 個人蔵

2. 故郷・三戸、デビュー前の貴重な作品

馬場のぼるの幼少期の作品や旧制中学のノートからは飛び抜けた画力をうかがうことができ、幼い頃から絵を描くことが好きだったことがわかります。「雪遊び」や「えんぶり」などを題材にした、三戸町出身ならではの作品が見どころです。また、旧制中学時代の勤労働員の作業を描いたイラストや、漫画家デビュー前の貴重な作品も展示します。



馬場のぼる 動物の行軍(小学3年生の作品) 1936 年頃 三戸町蔵

3、会期中は、楽しい企画が盛りだくさん

八戸市立図書館での絵本読み聞かせ、美術館広場マエニワでの南部バス「11ぴきのねこラッピングバス」展示、三戸町によるバスツアーなど、各所と連携し、会期中にさまざまな楽しい企画を実施します。また、三戸町から11ぴきのねこたちがやってきて来館者をお出迎え、一緒に写真撮影をしていただけます。

4、八戸会場限定ステッカープレゼント

まると馬場のぼる展八戸会場※の観覧特典として、チケット購入の方（観覧料無料の中学生以下含む）に「11ぴきのねこ」特製ステッカーを1枚プレゼントします（絵柄は2種類）。会期中何度でも観覧できるフリーパス「かおパス」購入者は2枚プレゼントします。

※この展覧会は、練馬区立美術館（2021年）、刈谷市美術館（2022年9月～）を巡回。

5、展覧会限定グッズ販売、美術館ショップコーナーを拡大。

会期中は、美術館のショップコーナーを拡大し、展覧会限定グッズ、「11ぴきのねこ」グッズ、絵本などを販売します。



馬場のぼる『ぶどう畑のアオさん』こぐま社 2001年刊 原画 こぐま社蔵



©Noboru Baba

馬場のぼる

BABA Noboru

1927年、青森県三戸町に生まれる。1949年、上京し漫画家としてスタートした。その作品は、ほのぼのと暖かい画風と深みのあるユーモア、独特の語り口で、幼児から大人まで幅広い人々の人気を集めている。漫画『ブウタン』で第1回小学館漫画賞、『11ぴきのねこ』で第15回産経児童出版文化賞、『11ぴきのねことあほうどり』と日本経済新聞連載の漫画『バクさん』で第19回文藝春秋漫画賞受賞。『絵巻えほん 11ぴきのねこマラソン大会』で、イタリアの子どもたちが選ぶイタリア・ポローニャ国際児童図書展エルバ賞を受賞。一連の業績に対して、1993年に日本漫画家協会賞文部大臣賞、1995年に紫綬褒章受賞。日本漫画家協会、漫画集団、漫画家の絵本の会に所属していた。2001年没。

（こぐま社公式サイトより）



会期中のイベント

各所と連携し、楽しいイベントを開催します。2022 年 6 月 1 日(水)より受付開始します。

講演会 『11 ぴきのねこ』と馬場のぼる先生 —その世界を支えたユーモアと故郷・青森—

日時 | 7 月 3 日(日) 13:30 - 15:00 講師 | 関谷裕子(こぐま社元編集長) 会場 | 美術館ジャイアントルーム 参加費 | 無料 定員 | 50 名 申込 | 要予約、電話またはメール

鑑賞プログラム 見て、読んで、おしゃべり鑑賞会

楽しくおしゃべりしながら作品を鑑賞します。

日時 | 7 月 10 日(日)、24 日(日)、8 月 7 日(日)、21 日(日) 10:30 - 11:30 会場 | 美術館展示室 対象 | 小学生 参加費 | 無料 定員 | 各回 10 名 申込 | 要予約、電話またはメール

図書館のおはなし会

絵本「11 ぴきのねこ」シリーズなど、馬場のぼる作品の読み聞かせを行います。

日時 | 会期中の毎週土曜日 10:30 - 10:45、15:00 - 15:15、15:30 - 15:45

会場 | 八戸市立図書館 1 階おはなし会室 参加費 | 無料 定員 | 各回先着 5 組(申込不要)

協力 | 八戸おはなしの会紙風船、八戸子どもの本の会 主催・問合せ | 八戸市立図書館 電話 : 0178 - 22 - 0266

11 ぴきのねこラッピングバスがやってくる!

日時 | 会期中の土・日・祝日 10:00 - 16:00 会場 | 美術館広場マエニワ 共催 | 岩手県北自動車株式会社南部支社(南部バス)

馬場のぼる ゆかりの地を巡るバスツアー

美術館発着、馬場のぼるのふるさと三戸町を解説付きで巡ります。

日時 | 7 月 17 日(日)、31 日(日)、8 月 7 日(日)、21 日(日) 参加費 | 大人 2,000 円、中学生以下 1,500 円 定員 | 35 名 申込 | みちのりトラベル東北八戸支店、電話 : 0178 - 22 - 0105 主催 | 三戸町

11 ぴきのねこと写真を撮ろう!

とらねこ大将とねこが美術館にやってきます。

日時 | 7 月 2 日(土)、3 日(日)、16 日(土)、17 日(日)、18 日(月・祝)、30 日(土)、31 日(日)、8 月 27 日(土)、28 日(日)、29 日(月) (時間は決定次第WEBで告知) 会場 | 美術館ジャイアントルーム

きむらとしろうじんじん野点 in 八戸 始動！ プロジェクトスタッフ募集、説明会開催

2023 年春夏企画「美しい HUG」 プレプロジェクト 先行プロジェクトのチームづくりと活動が 6 月からスタート。

来年度の企画「美しい HUG」では、ゲストキュレーターに、東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の東京アートポイント計画ディレクターの森司を迎え、展覧会とプロジェクトを実施します。2022 年度は展覧会に先行してプロジェクトがスタート、きむらとしろうじんじんと野点プロジェクトが始まります。



左 | 鳥取市用瀬町駅前(2016) 写真：田中良子



右 | 豊中市服部・浜の田んぼ(2018) 写真：梅田彩華

きむらとしろうじんじん野点 in 八戸

素焼きのお茶碗と陶芸窯・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など、その土地のさまざまな場所に出現。参加者が絵付けをしたお茶碗を楽焼(らくやき)という方法でその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地の・その日・そのときの風景の中で」お茶を楽しんでもらう、陶芸お抹茶屋台 - 移動式カフェ - 旅回りのお茶会です。



きむらとしろうじんじん

KIMURA Toshiro Jinjin

1967 年新潟生まれ。現在京都在住。

京都市立芸術大学大学院で陶芸を学ぶ。

1995 年より、その場で絵付けをして、楽焼きという方法で焼き上げられた自作のお茶碗で、その土地の、その日そのときの風景の中でお茶を楽しむことができる移動式陶芸お抹茶屋台「野点(のだて)」をスタート。以来、さまざまな土地の路上・路肩、公園や河原、空き地や刈り入れ後の田んぼ、神社やお寺、個人宅前や駐車場などさまざまな場所で行っている。青森県内では、1999 年に青森市、2005 年に青森市・弘前市で開催。八戸市では初開催となる。

・内容

STEP 1 プロジェクト説明会 + おさんぽ会

6月11日(土)、12日(日)、

7月16日(土)、17日(日)、18日(月祝) 10:00-17:00

美術館集合・説明会→お散歩場所へお出かけ

八戸をじんじんさんと一緒に歩きながら、10月1日(土)の野点(本番)開催候補地を探します。6月は中心街徒歩圏、7月は遠出(電車利用可能性あり、交通費は自己負担)予定です。

STEP 2 スタッフ向け野点リハーサル

9月25日(日)終日 美術館広場マエニワを予定

本番に向けてスタッフがリハーサル。実際にお茶碗を焼いたり、道具の使い方を練習したりします。

STEP 3 野点本番!

10月1日(土)終日 おさんぽ会で決めた会場

プロジェクトスタッフが運営し、お客様を迎えます。

・参加方法

申込締切 | 各おさんぽ会開催日の前々日 17 時まで

申込方法 | メール、電話、FAX

申込事項 | 参加日時、お名前、連絡先、参加可能日程、特技・意気込み

参加条件 | 年齢不問(お子さまは大人のかたとご一緒をおすすめします)。茶道や陶芸、美術の経験など不問。おさんぽ会だけの参加も OK。

募集人数 | 20 名程度

そのほか | 活動日は美術館敷地内駐車場の利用可(台数限定)

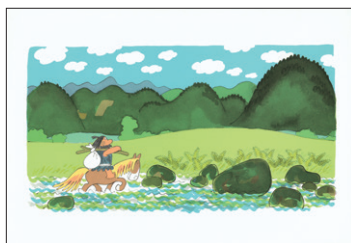


プロジェクトスタッフ募集チラシ

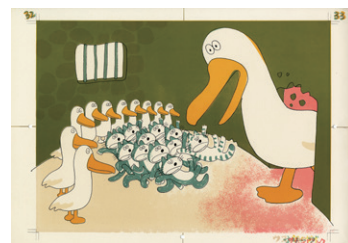
広報用画像



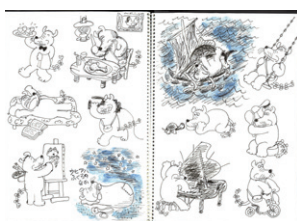
a



b



c



d



e



f



g



h



i



j



k

- a 馬場のぼる『11 ぴきのねことあほうどり』こぐま社 1972 年刊 リトグラフ(色校用) こぐま社蔵 ©Noboru Baba
 b 馬場のぼる『きつね森の山男』特装版 こぐま社 1999 年刊 こぐま社蔵 ©Noboru Baba
 c 馬場のぼる『11 ぴきのねことあほうどり』こぐま社 1972 年刊 リトグラフ(色校用) こぐま社蔵 ©Noboru Baba
 d 馬場のぼる スケッチブック 制作年不詳 個人蔵 ©Noboru Baba
 e 馬場のぼる「プウタン」『幼年ブック』1954 年 9 月号原画 個人蔵 ©Noboru Baba
 f 馬場のぼる 動物の行軍 1936 年頃 三戸町蔵 ©Noboru Baba
 g 馬場のぼる『ぶどう畑のアオさん』こぐま社 2001 年刊 原画 こぐま社蔵 ©Noboru Baba
 h 鳥取市用瀬町駅にて(2016) 写真: 田中良子
 i 豊中市服部・浜の田んぼ(2018) 写真: 梅田彩華
 j, k. クレジット不要

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

〔画像の貸出条件〕

- 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用後すみやかに消去してください。
- 画像のトリミングについては事前にご相談ください。• 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。
- 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。• 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に 1 部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>
 担当者(広報)|大澤、山内